

いちご創造ネットワークが視察研修を開催

令和8年1月22日（木）、銚田市を中心にイチゴ生産をしているメンバーで構成するいちご創造ネットワークが、埼玉県本庄市のいちご生産者ほ場において、視察研修を開催しました。会員7名が参加し、埼玉県のオリジナル品種「あまりん」を栽培する久米原農園と五十嵐苺園を視察研修しました。

研修では、園主から、「あまりん」の品種特性や温度管理、病虫害防除等の栽培管理や販売方法、経営上の工夫などについて説明を受けた後、栽培ほ場を見学し、株の生育状況や果実の状態、ハウス内環境などを確認しながら意見交換を行いました。

「あまりん」は近年注目されている品種なので、参加者の関心が高く、栽培技術や今後の展望について終始活発な意見交換が行われ、高品質かつ安定生産を実現するための具体的な栽培技術や経営内容について理解が深まる有意義な研修となりました。

普及センターでは引き続き、生産者や関係機関と連携しながら、いちご経営体の安定生産および所得向上のための支援を行っていきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



視察研修の様子